

複合災害時の行動

地震との複合災害

地震に対する避難行動を優先

家屋や建造物の倒壊など、人命のリスクが高い場合は、地震に対する避難行動を優先します。家の中に留まることが困難な場合は、市が指定する避難所へ避難します。その後、原子力災害の避難指示が出た場合は、余震の影響・避難手段の確保状況を考慮しつつ避難先自治体に避難します。



津波との複合災害

津波に対する避難行動を優先

津波警報の発表や津波に関わる避難指示の発令など、人命のリスクが高い場合は、津波に対する避難行動を優先します。住民は、市が指定する津波避難場所へ避難します。原子力災害の避難指示が出た場合は、原子力災害に対する避難行動よりも、津波に対する避難行動を優先し、津波に対する安全が確保されてから原子力災害の避難行動を行います。



暴風雪との複合災害

天候が回復してから避難先自治体に避難

雪を伴う強風による視界不良や吹きだまりの発生などにより避難中の事故のリスクがあるため、自宅などで屋内退避を行います。天候が回復し、安全が確保された後、避難指示が出てから避難先自治体に避難します。



豪雨・土砂災害との複合災害

自然災害に対する避難行動を優先

自然災害の方が人命のリスクが高い場合は、自然災害に対する避難行動を優先します。



放射線の

基礎知識



放射線とは・・・

放射線とは、放射性物質から放出される高いエネルギーを持った粒子や電磁波のことです。

放射能と放射線

「放射能」とは、「放射線を出す能力」のことで、放射能を持っている物質を「放射性物質」といいます。「放射線」とは電球から出る光のようなもので放射性物質から放出されます。



Gy グレイ	人や物が吸収した放射線の量を表す単位 空間に飛び交っている放射線の量を表すときに用いる	Bq ベクレル	放射性物質が出す放射線の量を表す単位 飲食物などに含まれる放射性物質の量を表すときに用いる
------------------	--	-------------------	--

Sv シーベルト	放射線の量を人体に及ぼす影響の大きさを表す単位 グレイに人体への影響度の係数を掛けて算出。避難開始の基準など、多くの場面で用いる	1(Sv) = 1,000(mSv) ミリシーベルト 1(mSv) = 1,000(μSv) マイクロシーベルト
--------------------	---	---

主な放射性物質

自然界に存在する放射性物質		原子力災害で放出される放射性物質		
放射性物質	半減期※	放射性物質	半減期※	体内の蓄積場所
ウラン238	45億年	ヨウ素131	8日	甲状腺
カリウム40	12.8億年	セシウム134	2年	筋肉・全身
炭素14	5730年	セシウム137	30年	筋肉・全身
トリウム232	140億年	ストロンチウム90	29年	骨
		プルトニウム239	2万4千年	骨・肝臓

※半減期とは、放射能が半分になるまでにかかる時間のことです。